

# 多摩振興事業の実績報告 2017（概要）

## I 多摩を取り巻く状況

### ▶ 人口・高齢化率等

（人口）2015年：約422万人 ⇒ 2040年：約384万人まで減少（予測値）  
 （高齢化率）2015年：約24% ⇒ 2040年：約32%まで上昇（予測値）  
 （合計特殊出生率）2012年：約1.2 ⇒ 2016年：約1.3となり上昇（市部）

### ▶ 待機児童数

2012年：約2,900人 ⇒ 2018年：約2,100人に減少

### ▶ 製造品出荷額等

2008年：約5兆5千億円 ⇒ 2016年（概数）：約4兆9千億円で減少

### ▶ 有効求人倍率（フルタイム）

2014年1月：約0.6 ⇒ 2018年1月：約0.9で上昇

## II 主な多摩振興事業の実績等（2017年度）

東京都は、多摩地域において、それぞれの地域の特性や課題に対応した取組を、全庁を挙げて、市町村と連携を図りながら、着実に実施

### ▶ 安全・安心で、誰もが暮らしやすいまちづくり

- ・多摩地域の主な拠点の整備（第一種市街地再開発事業）  
 [事業完了]調布駅北第一A地区、[施設建築物竣工]府中駅南口第一地区、国分寺駅北口地区
- ・多様な保育サービスの拡充：待機児童解消区市町村支援事業等の実施
- ・出産・子育て応援事業（ゆりかご・とうきょう事業）：実施市町村 21市町(8市増)
- ・特別養護老人ホームの確保：定員 21,190名(367名増)
- ・都営諏訪・和田・東寺方・愛宕団地の建替え  
 都営多摩ニュータウン永山団地(仮称)・中沢一丁目団地(仮称)の建設工事中等
- ・トンネル予防保全計画：3トンネルで着手(2017年度までの累計)
- ・橋梁の長寿命化対策：13橋で着手(2017年度までの累計)
- ・山間部道路の整備：(仮称)梅ヶ谷トンネルで本体工事着手
- ・都道及び市町村道の無電柱化  
 東京都無電柱化推進条例の施行、東京都無電柱化計画の策定、無電柱化チャレンジ支援事業制度の創設(6市を支援) など

### ▶ 道路・交通ネットワークの充実強化

- ・多摩南北・東西道路の整備：整備率 76%(多摩南北道路)、69%(多摩東西道路)
- ・連続立体交差事業：西武新宿線(東村山駅付近)において高架橋工事等を実施中
- ・南多摩尾根幹線の整備：唐木田区間で事業中、一部区間の都市計画等の手続きに着手
- ・第3次交差点すいすいプラン  
 完成又は一部完成した交差点 6箇所(2015年度～2017年度累計)
- ・鉄道ネットワークの充実  
 多摩モノレール等を含む6路線の事業等の財源として新たに「鉄道新線建設等準備基金」を創設

## II 主な多摩振興事業の実績等（2017年度）（続）

### ・道路のバリアフリー化

東京 2020 大会競技会場周辺の都道：約1km整備（2017年度までの累計）

駅、生活関連施設を結ぶ都道：約5km整備（2017年度までの累計）

### ・自転車走行空間の整備

東八道路、新奥多摩街道、川崎街道など 56km 整備（2017年度までの累計）

など

### ▶ 地域資源を活かした産業振興、地域で働くことができるまちづくり

#### ・産業交流拠点（仮称）の整備：実施設計完了

#### ・多摩・島しょ地域旅行商品造成・販売支援事業

「高尾山、小澤酒造、奥多摩湖等を巡る日帰りツアー」などの造成を支援

#### ・畜産物の供給体制の強化

青梅畜産センター再編整備：増改築工事に向けた実施設計を実施中

家畜保健衛生所の移転改修工事：実施設計を実施

#### ・多摩産材の利用拡大：多摩産材の出荷量 26,119 m<sup>3</sup> (7,176 m<sup>3</sup> 増)

#### ・多摩地域雇用就業支援拠点（仮称）の整備：実施設計完了

#### ・テレワーク等普及推進事業：東京テレワーク推進センター設置、モデル実証事業

など

### ▶ 文化・スポーツの振興、教育の充実

#### ・東京文化プログラムの展開：小金井アートフル・アクション！の展開、TURN LAND の実施

#### ・東京 2020 大会、ラグビーワールドカップ 2019™の開催気運の醸成

フラッグツアー、NO LIMITS CHALLENGE、東京ラグビーファンゾーン 2017

#### ・事前キャンプの誘致支援：府中市とオーストラリアが事前キャンプ覚書締結

#### ・東京都多摩障害者スポーツセンターの改修：実施設計を完了、工事に着手

など

### ▶ 豊かな自然との共生、環境に優しいまちづくり

#### ・東京都緑地保全地域の指定：東豊田緑地保全地域に隣接する樹林地の追加指定に係る取組を推進

#### ・都立公園の整備：開園実績（滝山公園、大戸緑地など4公園 4.65ha）

#### ・中小河川の水辺空間の緑化：護岸や河川管理用通路の緑化（約 0.8ha の緑地創出）

#### ・自立型ソーラースタンド普及促進事業：14 市町村で 54 基を設置

など

## III 市町村間の広域連携、多様な主体との連携

・市町村による独自の取組は非常に重要であるが、市町村間で広域的に連携した取組も効果的

・5つのエリア区分での連携に加え、地勢等に着眼した連携なども実施

### 【主な連携例】

〔地 勢〕 多摩川流域連携会議、狭山丘陵観光連携事業推進実行委員会

〔鉄道沿線〕 青梅線沿線地域産業クラスター協議会

〔産業構造〕 三市創業支援事業協議会T. A. F、多摩地域観光資源広域活用協議会

〔広域行政圏〕 西多摩地域広域行政圏、多摩北部都市広域行政圏